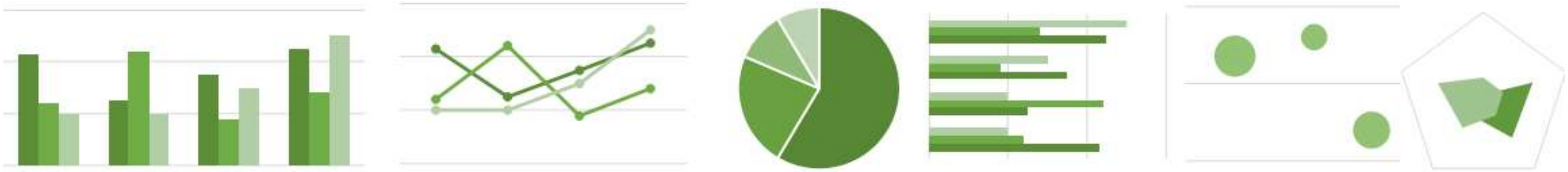
資料３

令和６年度　第1回データ利活用WG

令和６年度WGにおける検討事項



令和５年度WGの検討結果

データ利活用進めていくために必要なことやその推進方策について整理し、
道におけるデータ利活用推進の方策について検討

**AIを活用してデータ利活用のインスタンスを作成し、
共有・実践することで人材育成を図る**

AIを活用した庁内ユースケースの創出（実証）

庁内の一部を対象とし、AIに関する基礎知識及び業務での活用に当たってのリテラシーやリスクを学ぶ研修を実施

具体的なユースケースを創出して実証することにより、AIの活用が適切な業務領域や効果的な活用方法を特定

AIを活用した業務改善に向けての具体的なユースケースの発掘や業務における活用機会の検討のためのワークショップを開催

AIの活用に対する理解促進や更なるユースケースの創出につなげるため、実証で得られた効果的な活用方法などを全庁に横展開

実証で得られた知見を道内市町村等へ提供することで、データ利活用を推進!!

検討結果を踏まえた事業展開

今年度、AIを活用した実証事業を民間企業と連携して実施しているほか、
10月には、AIをテーマとしたワークショップを開催するなど、
実証から得られた知見を道内市町村等へ提供することでデータ利活用を推進していく。

【AIコンシェルジュ】
民間企業から実証環境を提供いただき、庁内の一部を対象として、AIを活用したユースケース創出に関する実証を実施中。
実証の実施に当たり、研修やワークショップを実施。
RAGの検証を効果的に行うため、期間を8/31まで延長。

【オンラインセミナーの開催】
IT企業等と連携して、AIをテーマとしたオンラインセミナーを道や市町村の職員を対象として実施。（R6.4　自治体DXを加速する生成AI活用術）

【今後の展開】
実証結果から、 AIの活用が適切な業務領域や効果的な活用方法を特定。
AIの活用に対する理解促進や更なるユースケースの創出につなげるため、全庁に横展開するほか、知見を道内市町村等へ提供することで、データ利活用を推進。

【DXカンファレンス】
10月に開催する「北海道ミライづくりフォーラム2024」において、生成AIをテーマとした課題解決型ワークショップを開催。（道における実証成果を活用。）

令和６年度WGにおける検討事項

検討内容

＜データの利活用とデータ連携基盤＞

「北海道Society5.0」の実現に向け、横断的視点である「データの利活用」と、それを支える「データ連携基盤」について協議・検討する。

　また、国がデータ連携基盤の乱立防止を図る観点から、今年度中に策定を求めている「データ連携基盤共同利用ビジョン」について、協議・検討する。

今年度の目標

- **データ連携基盤に関する検討、課題の整理**
- **データ利活用人材の育成**
- データ連携基盤共同利用ビジョン（仮称）の策定

令和６年度第1回親会議での意見

〈データ利活用について〉

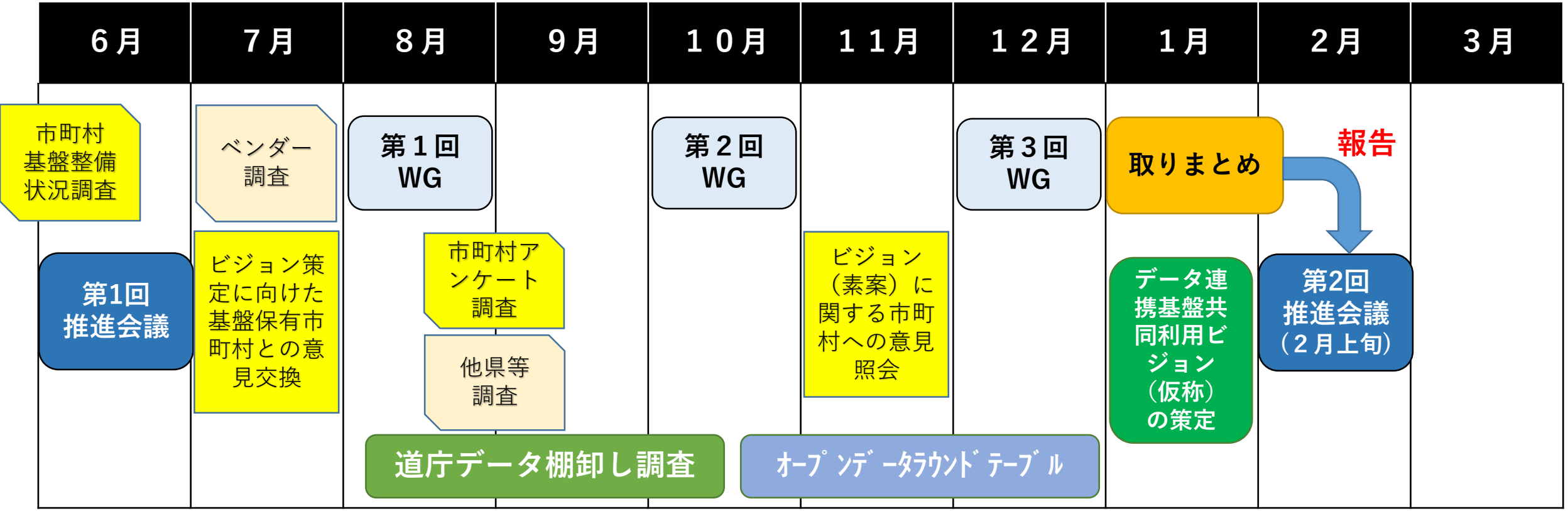
・データ連携基盤の集約について、**自治体目線では他の自治体とデータ共有したいニーズ自体がない。**
広域で集めるべきデータは何か議論が必要。**都道府県主体でも、防災や観光以外にユースケースがない。**

・AIを使ったオンデマンド交通やIOTを使った市民の健康づくりアプリなどを導入し、**データは蓄積されてくるが、そのデータをどう分析・利活用・連携すればいいのか、実はよく分からない。**蓄積されたデータを分析して活用してどう連携していけばいいのかという部分の指針のようなものを示していただきたい。

・ChatGPTはじめ生成AIが登場する中で、データサイエンティストの代わりをAIにある程度やらせる事例も出てきた。**AIを使ってデータ分析し、出てきたデータを利用する勘所がシェアできると、いろんなデータの利用が広がっていく。**ワーキンググループで**そのような事例がうまくケーススタディとして貯めたりとか、紹介できるといい**のかなと思います。

・分析そのもののハードルは、ChatGPTの登場で非常に下がってきている。**今後何が必要になってくるか、**その**データを**どんどん**集めていくインセンティブ設計と最終的にどうやって目的を**決定して**達成していくか**だと思うんです。**いろんな成功事例の利活用、**そういった観点で**事例を収集して**そこから**共通項を見つけて、かつ、北海道ならではといった課題の解決方法をアピールしていきたい**と思っています。

スケジュール



○WGにおける協議内容

・第１回：国からの情報提供（デジタル庁）、道内基盤整備状況調査・ベンダー調査結果の報告、事例紹介（札幌市、更別村を想定）、ビジョンの策定に向けて（案）

・第２回：市町村アンケート調査・他県等調査結果の報告、事例紹介（基盤ベンダーを想定）、ビジョン（素案）について

・第３回：ビジョン（案）について